

平成 26 年度第 3 回浦安市学校給食センター運営委員会開催報告

- 1 開催日時 平成 27 年 2 月 18 日（水曜日）午後 2 時～午後 3 時 30 分
- 2 開催場所 浦安市消防庁舎 3 階多目的ホール
- 3 出席者等
 - (1)出席者（委員） 北川会長、齊藤副会長、佐藤委員、宍戸委員、岡委員、長嶋委員、今関委員、上村委員、大前委員、大塚委員、門井委員、山下委員、田邊委員、13 名
（事務局）米本教育総務部長、佐久間教育総務部次長
第一・第二調理場 吉田所長、板倉副主幹、宇田川副主査、宇都木栄養士、山上栄養士
第三調理場 長島所長、宮崎副主幹、林田栄養士、吉田(由)栄養士
 - (2)欠席 2 名
 - (3)傍聴人 無
- 4 議 題
 - (1) 平成 26 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 1 月）の検査結果
 - (2) 平成 26 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 1 月）の報告
 - (3) 平成 26 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて
 - (4) 平成 27 年度浦安市学校給食センター運営計画について
- 5 会議経過

開催に先立ち、教育総務部次長より挨拶があり、その後、議事に入った。概要は次のとおり。

 - (1) 平成 26 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 1 月）の検査結果について事務局より説明した。
委員からの質疑および意見は特になし。
 - (2) 平成 26 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 1 月）の報告について事務局より説明をした。
委員からの質疑および意見は特になし。
 - (3) 平成 26 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて事務局より説明をした。
委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 残滓量については、過去はどこの学校がどれくらい給食を残しているのか、そのデータがあった。
浦安中学校は給食委員会が頑張っており、配膳員から給食を残す量が減ってきていると聞いているが、残滓量のデータが欲しいと生徒に言われており、残滓データをいただきたい。

(事務局) 副食についてはデータがあり、米飯の残滓については 12 月から残滓量を計っており、把握できるようになった。このことから、なんらかの方法で検討する。

(委員) 前回の運営委員会で中学校へ視察した際、「給食で焼き肉を食べたい」、「牛乳が冷たくて残る」と意見があったが、その後の対応は。

(事務局) 牛乳の飲み残しにつきましては、コーヒーシュガーを数回提供したが、毎日となると予算的に難しい状況である。

また、焼き肉については、給食で提供はできないが、肉類の焼物を提供する際に、タレや献立の工夫をしている。

(4) 平成 27 年度浦安市学校給食センター運営計画について事務局より説明をした。

委員からの質疑等は次のとおり。

(委員) セレクト給食については、子ども達を楽しみにしているが、過去にリクエスト給食があり、児童達にどんな給食が食べたいのかアンケートを行い、児童のリクエストから「ラーメン類やアイスクリーム等」が提供されていたと思うが、リクエスト給食についてどのように考えるのか。

(事務局) リクエスト給食については、センター栄養士、運営会社と協議しなければならないが、何らかのアレルギーを持つ児童が増加していることから献立を作成する際、アレルギー対応食が可能なのか、また、リクエスト給食を提供する際、アレルギー対応食と通常食の給食メニューに差が生じないことが必要と考えている。

(委員) 中学校給食で2月13日にチョコレートマフィンが給食で提供されたが、この日は公立高校の入試があり、3年生が入試で給食カット日であった。

おそらく、バレンタインでチョコレートを提供したと思うが、市内中学校の3年生全部が給食カット日であり、全学年が喫食できる日に提供していただきたい。

また、冬場の牛乳については、自分も検食で牛乳を飲むが、冬場は冷たく1本飲むことができないので、施設的に難しいと思うが、牛乳を保温した状態で提供できれば飲み残しが減るのではないのか。

(事務局) 中学校給食で初めてチョコレートマフィンを提供した。

栄養士達はその季節に合わせて考えて提供したが、非常に調理するのに手間がかかり、中学校の生徒全部に提供することは難しい。

次年度以降は年間を通して公平となるような提供を考えていきたい。

また、牛乳の保温については、提供本数を保温することは難しいことや、提供する際の衛生管理について国から牛乳の温度設定が規定されていることから困難である。

(委員) よく(保護者)お母さんから聞く話であるが、土曜日に学校へ登校日となる日は振替で月曜日に学校が休みとなるが、どうして土曜日に給食が出ていないのかと話があり、月曜日に給食提供がない場合、給食費はどのようになるのか。

また給食回数について小中学校は同じなのか。

(事務局) 給食提供回数については、市内小中学校の校長会と調整を行っている。

また、給食費については、各学校の行事によって、土曜日に学校へ登校し、振替により月曜日を休校としていることから、給食費用の算定時には、あらかじめ学校行事による給食停止日数を差し引いて給食費を定

めている。

(委員) 浦安市では市の全体的な食育推進計画が未策定であるが、今後予定があるのか

(事務局) 食育については、教育委員会では保健体育安全課、市長部局では健康増進課が中心となって、全般的な健康対策については健康うらやす 21 を作成している。

食育については、就学前から成人まで、それぞれの関係する部署が共通認識を持ち、食育を推進する必要があると考える。

(委員) 学校教職員の健康について、メタボの職員が見られ、給食を完食していないかと聞くと、完食していると聞いている。

学校職員が中学生の量を食べるとカロリーオーバーとなることから、年代別で指導されたらと思うが。

(事務局) 食事について、三食のうち給食で一食分を提供しますが、教職員の健康管理について大事なことと考える。

一般成人男性や女性のカロリー計算を献立等で、工夫できればと考えている。